

独立行政法人日本スポーツ振興センター契約監視委員会議事概要

開催日及び場所	平成25年1月23日(水) 独立行政法人日本スポーツ振興センター 第二特別会議室	
委員	委員長 清水 幹裕(弁護士) 委員 青山 伸一(公認会計士) 委員 浜畑 和文(監事)	
審議対象期間	平成24年4月1日～平成24年11月30日	
審議案件(合計)	64件	(備考) 契約案件101件から64件を抽出し、審議を行った。 抽出案件について説明を行い、各委員の質問等への回答を行った。
役務(小計)	61件	
競争性のない随意契約	35件	
一者応札・一者応募	26件	
工事(小計)	3件	
競争性のない随意契約	1件	
一者応札・一者応募	2件	
委員からの意見・質問、それに対する回答等	意見・質問	回 答
	別添のとおり	別添のとおり
委員会による意見の具申又は勧告の内容	なし	

委員からの意見・質問、それに対する回答

意見	回答
競争性のない随意契約（役務）	
<ul style="list-style-type: none"> ・不落随意契約を行った案件は、一般競争入札時に何者の応札があったのか。 	<ul style="list-style-type: none"> ・6者が入札に参加したが、再度入札時に全者が辞退したため、後日予定価格を変更せずに、最低価格で応札した業者と随意契約を行った。
一者応札・一者応募（役務）	
<ul style="list-style-type: none"> ・専用トレーニング施設における競技用備品の購入において、入札説明書を4者に配布したにもかかわらず、1者応札となったのはなぜなのか。 ・医療機器の予定価格はどのように積算したのか。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ナショナルトレーニングセンターに納入する専用備品であり、海外からの輸入品を指定していたため、輸入代理店のみの応札となった。 ・大学病院等に照会をかけ、納入実績を調べた上で予定価格を作成した。
一者応札・一者応募（工事）	
<ul style="list-style-type: none"> ・入札は何回までできることとなっているのか。 ・原則3回を目処ということだが、どのような場合、4回以上の入札を実施するのか。 	<ul style="list-style-type: none"> ・原則3回を目処としている。 ・3回の入札が終了した時点で、入札参加者に再度入札を実施するか確認し、参加する意思がある場合、4回以上の入札を実施している。
審議結果	
<ul style="list-style-type: none"> ・契約の透明性、公平性、透明性について引き続き努力すること。 ・入札の参加を辞退した業者に対して、不参加の理由についてできるだけ確認し、今後の競争入札に活かすこと。 	